

「北上市地域リハビリテーション部会」部会員事前アンケート結果

(令和 7 年 5 月実施)

職種等	1 通常業務について簡潔に教えてください	2 業務の際に連携している専門職・関係部署・機関等について教えてください	3 業務において課題とされていることや今後の希望、多職種連携の観点から部会で協議して欲しいことなどについて教えてください
理学療法士 (診療所・介護予防)	<ul style="list-style-type: none"> ・外来リハビリでの機能訓練（介護保険外） 脳性まひ、骨折、靭帯損傷、関節疾患、パーキンソン病などの難病、脳卒中後遺症、スポーツ障害 ・介護予防 総合事業A型/通所介護、C型/通所・訪問 ・通所リハ 退院時カンファ出席、自宅環境評価、用具の提案、機能訓練、リハビリ計画立案、リハビリ会議、定期的自宅訪問（生活行為向上の取組）、認知症リハ ・自費事業（フィットネス） 運動指導、相談、リハビリ ・訪問リハ、老健（入所、通所、訪問） 	<ul style="list-style-type: none"> （職種）医師、看護師、介護職（相談員）、ケアマネジャー、管理栄養士、リハ職、ヘルパー、福祉用具専門員 （機関）居宅介護支援、包括、病院連携室、行政 	<p><u>（入退院）</u> <u>リハサマリーなど書類の連携はできているが自宅生活の情報が少ないまま病院でリハビリをしてくると、実際の生活に合っていないことがある。できるだけ解消するために・・・</u></p> <p>（案） ケアマネがついている人 病院側→在宅情報を見て欲しい 在宅側→在宅情報にリハ情報を載せられないか？ ※ 病院⇄在宅のリハ連携にいい案はないか？他にないか？</p> <p><u>（自宅療養）</u> <u>ケアマネとの連携について、利用者の状態が変わってもケアプランの目標変更がされずそのままになっている事がある。リハ側から伝えてもケアプランが変わらないことが多い（サービス担当者が大変な事もあると思うが）</u></p>
作業療法士 (介護施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス 機能訓練指導員として利用者への運動指導 ・公民館等での講話 ・短期集中予防サービスC型通所・訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー、地域包括支援センター ・サービス担当者会議に参加する各事業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動や他職種連携の重要性は理解できるが日常業務内での時間調整が難しい。 ・活動時間の定量化と<u>勤務先法人への説明や理解などの働きかけを相談できると助かる。</u>
作業療法士 (病院・リハビリ)	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者様の機能回復訓練、日常生活動作訓練、社会復帰支援 病気が怪我による身体機能に障がいがある方に対して機能訓練を実施し身体機能の回復を図り、日常生活に不足している機能を獲得していく。また、職業復帰等その人らしい生活を送れるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関（急性期病院、療養病院、クリニック） ・福祉関係機関（包括、老健 など） ・リハ職、ケアマネ、看護師、社会福祉士、福祉用具業者 など 急性期から地域への中間施設であり、急性期病院からのリハ職間でのサマリーのやり取り。退院前カンファではケアマネジャー中心に退院後に関わる職種（訪問看護など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>情報をうまく伝えることが出来ているか</u> ・<u>お互いに遠慮しているところがあるのではないかと（顔なじみの関係ができていないような気がする）</u> ・もしかしたら知らず知らずのうちに専門用語を多用しているのではないか ・もっと気軽に他職種、他機関に相談できる方法があれば良いかと思っている。
言語聴覚士 (診療所・リハビリ)	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下、言語、高次脳機能障害、口腔評価、訓練（通所、入所、外来、訪問リハ共通） ・介護、看護、栄養士との情報共有と伝達、ドクター、ケアマネ、相談員への報告 ・サービス担当者会議、計画書作成、カルテ記入など （通所・入所）利用者様の口腔内環境の定期チェック 入所：口腔嚥下委員会、経口維持、経口移行加算 通所：口腔機能向上加算 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師、看護師、介護職員、相談員、管理栄養士、ケアマネジャー、PT、OT、ヘルパー（老健ST、クリニック） ・訪問リハST 訪問診療、ヘルパー、訪問看護、他事業所リハ、施設看護・介護 など 	<p>（老健より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>退所先から情報で看護サマリーとリハサマリーの情報に異なる点があることが時々みられる（トロミの有無や濃さ、ムセの有無、言語障害の有無など）</u> ・食事＝STなので動作や栄養面、姿勢もすべて相談されることが多いので多職種とのやり取りが増える。 ・口腔、言語、高次脳機能障害、嚥下と関わる分野が多い （その他） ・嚥下は問題ないが歯が数本しかなく全粥や刻み食対応となってしまう。長期入所中に<u>義歯が合わなくなり、高齢が進み、本人も家族も義歯を調整しない。結局安定しない義歯をつけ続けるか義歯未装着での食事となる。</u>

職種等	1 通常業務について簡潔に教えてください	2 業務の際に連携している専門職・関係部署・機関等について教えてください	3 業務において課題とされていることや今後の希望、多職種連携の観点から部会で協議して欲しいことなどについて教えてください
管理栄養士 (診療所・在宅訪問)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問栄養指導（介護保険事業） ・老健施設での栄養マネジメント、通所リハアセスメント、栄養改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師、看護師、ケアマネジャー（施設・住宅）、リハ職、相談員 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>訪問栄養指導や栄養改善の必要性についての理解（利用についての周知不足、栄養の介入でできることを知ってもらうこと）</u>
管理栄養士 (行政)	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業 乳幼児健診、産前教室、育児学級、あかちゃんタイム、子育てサロン、乳幼児個別指導 ・栄養指導・食生活改善事業 離乳食教室、食事指導講習会、出前講座、まちの保健室、個別栄養指導 ・健康増進事業 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防プログラム ・食生活改善推進員事業 食生活改善推進員養成教室、食生活改善推進員育成研修 ・健康づくり推進事業 成人健診での減塩食提供、防災情報の周知等 	市保健師、子育て支援センター保育士、子育て支援コンシェルジュ、子育て支援課管理栄養士、保健所栄養士	
歯科衛生士 (病院)	<ul style="list-style-type: none"> ・NST回診、歯科回診 ・がん医科歯科連携 ・地域連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・北上、花巻歯科医師会、歯科医院 ・県立病院歯科衛生士 ・中部病院内多職種 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設との連携について
歯科衛生士 (行政)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科指導、歯科相談（依頼ベース） 幼保認定こども園、小中高、障がい者施設、地区公民館等でのフレデイ、交流センター主催の健康イベント等 ・検診の実施（業務委託） 妊婦歯科検診、成人歯科検診（40,50,60,70歳）、後期高齢者歯科健診（76歳） ・乳幼児健診での歯科健診補助、歯科相談等 ・乳幼児を対象とした教室の開催（はみがきコース、歯医者さんコース、おやつコース） ・妊婦と夫を対象とした産前教室での歯科講話 ・特定保健指導受講者への歯科相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師、管理栄養士、幼稚園教諭、保育士、養護教諭、障がい者施設職員 	
介護支援専門員 (介護)	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ業務（サービス調整、退院退所支援など） ・地域資源について包括との話し合い（買い物、移動支援など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、各介護サービス事業所、民生委員、包括 ・配食サービス、移動スーパー ・市（長寿、生活保護担当など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援（身寄りのない方の対応） ・前回の会議で口腔ケアの話が出ましたがケアマネ達との<u>口腔について関連性が薄く感じられている。今後必要と思われませんが、連携について考えていきたいです</u>
保健師 (介護・包括)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター管理業務 ・総合相談、介護予防ケアマネジメント、介護予防業務 ・ケアマネ支援、高齢者虐待対応 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・市（長寿介護課、地域福祉課、障がい福祉課、健康づくり課） ・医療機関（各開業医、病院相談室等） ・社会福祉協議会 ・地域の交流センター、民生委員、福祉協力員など 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療リハと介護リハの利用者のイメージがずれている（病院のように手をかけマッサージをしてもらいたいと言われる） ・<u>退院後、リハにつながらず機能低下していく人もいる。予防の人は退院後すぐに短期集中リハ訪問やいきいき教室につなげられるといいのだが。</u> ・退院前にリハ職等病院スタッフにも利用者の自宅に訪問してもらい、退院後の在宅生活を想定した生活アドバイスや自宅での訓練方法等の退院指導をしてもらえるのが理想 ・<u>食事形態の情報がうまく伝わっていないときがあった。→食事形態イメージの統一化</u>